

優良種苗確保事業

執行委任：農林水産部森林・林業経営課

駒田博信

1. 採種源整備事業

二本木地内の採種園・採穂園を対象に、下刈り 0.49 ha(延べ面積)を実施した。

奥田清貴

2. 採種園・採穂園改良事業

(1) 原種保存

採種木、採穂木の原種保存のため、挿し木苗の養苗を行った。

(2) 少花粉スギのミニチュア採種園の管理、種子生産

2015年2～3月に少花粉スギ間で人工交配し、着花結実した球果にカメムシ被害防除のための網袋を設置した。10月に球果を袋ごと採取して、得た種子2,000g(発芽率:31.2%)を三重県林業種苗協同組合連合会(県苗連)に売り払った。

次年度の種子生産のため、7月に少花粉スギ採種木80本に対してジベレリン100ppm溶液を2回散布処理して着花させ、2016年3月に少花粉スギ間で人工交配した。

(3) 特定母樹及びエリ トツリ によるミニチュア採種園の維持管理

構内に造成したスギ特定母樹採種園(120 m²)、スギエリ トツリ 採種園(141 m²)、ヒノキエリ トツリ 採種園(220 m²)の維持管理を実施した。

(4) 特定母樹の増殖

スギ、ヒノキ特定母樹の発根率を確認するため、穂木採取が可能な採穂木、採種木から採穂し、スギ18クローン、ヒノキ14クローンの挿し木を実施した。

(5) マツノザイセンチュウ抵抗性クロマツ採種園の造成準備

松くい虫被害で枯死した二本木採種園のクロマツ採種園跡地に、マツノザイセンチュウ抵抗性クロマツを植栽するため、関西育種場から接ぎ木苗木(7クローン×14本)を購入した。次年度購入分と同時に植栽するため苗畑で育成管理する。

3. マツノザイセンチュウ抵抗性クロマツの種子生産

川口採種園に設定してあるマツノザイセンチュウ抵抗性クロマツ採種園(0.5 ha)から採取した種子600g(発芽率62.5%)を県苗連に売り払った。